

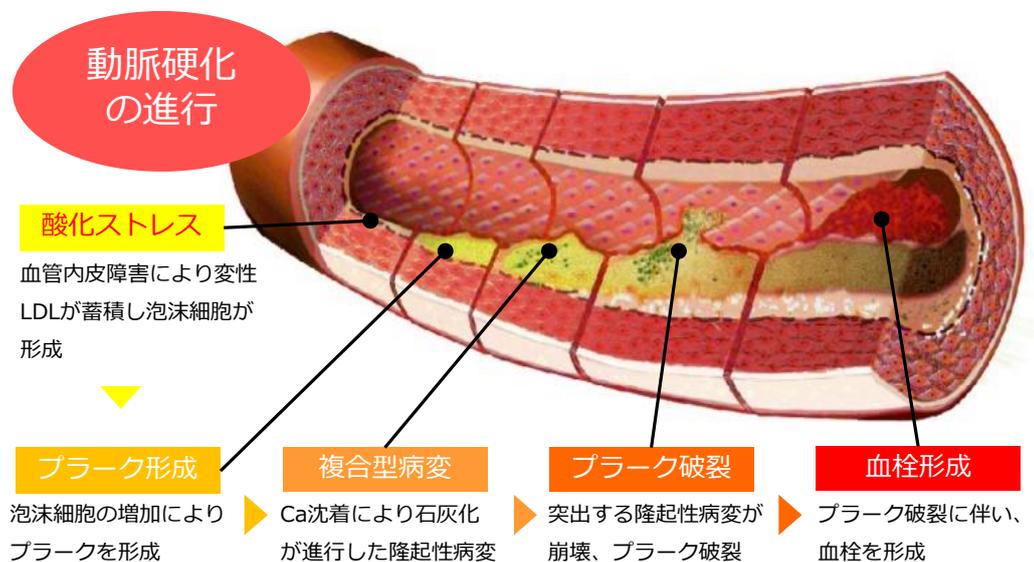
# ★新しいオプション検査を開始しました★

脳梗塞・心筋梗塞リスクチェック『LOX-index<sup>®</sup>』

## このような方にお勧めです

- **血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいらっしゃる方**
- **高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかっており、動脈硬化が気になる方**
- **40歳以上の方**

動脈硬化の進行から  
将来の脳梗塞、  
心筋梗塞の発症までを  
予測できる  
新しい血液検査です。



## LOX-index<sup>®</sup> (ロックスインデックス) とは

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞・心筋梗塞を発症してしまう怖い病気です。ロックスインデックスは、血液中の超悪玉コレステロール(LAB)とその担い手であるsLOX-1を測定・解析することで**将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する血液検査**です。検査結果で、脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあれば予防対策を取って、早い段階からリスク回避していただけます。

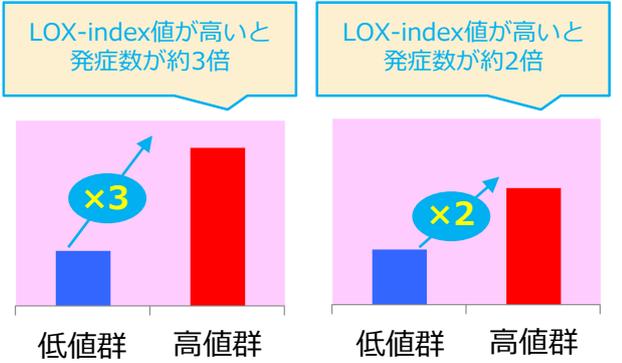
- 採血だけの簡単な検査
- 健診・人間ドックのオプション検査として受診可能
- 検査価格：                      円 (税別)

※ リウマチ、妊娠中、出産後、熱がある場合は、検査数値が高く出る可能性があります。

# ロックスインデックスが高い方は

<脳梗塞発症との関係> <心筋梗塞発症との関係>

動脈硬化が進行すると、脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まります。血液中の超悪玉コレステロール(LAB)とその担い手であるsLOX-1の増加を促してしまう要因として、生活習慣(喫煙、過食、過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等がありますので、LOX-index値が高い方は、予防対策を始めましょう。



引用: Clinical Chemistry 2010;v.56,p.550-558.

## 結果報告書 (サンプル)

発症リスクのレベルを分かりやすくグラフで記載。

LOX-index®・脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査報告書

★氏名 demo 様 受診日 2014/12/24  
★カルテID 000001 ★性別 男性 ★年齢 45

総合評価グラフ

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。

1800  
1500  
1200  
900  
600  
300  
0

0.0 2.0 4.0 6.0 8.0 10.0

LAB (µg cs/mL)

★ 今回の結果 (blue star)  
★ 前回の結果 (green star)  
★ 前々回の結果 (red star)

■ 高リスク  
■ 中高リスク  
■ 中リスク  
■ 低リスク

※ リスク評価検査の検査結果であり、医学的な診断結果ではありません。

動脈硬化の初期段階は、超悪玉コレステロールLAB(酸化変性LDL)と超悪玉コレステロールの担い手であるLOX-1が結合することにより起こると考えられています。そのためLOX-index®は、LABとLOX-1を測定・解析することで、動脈硬化の初期段階を捉えることができます。また日本国内で行われた追跡研究の結果、LOX-index®が高いと将来の脳梗塞発症率は約3倍、心筋梗塞発症率は約2倍となることがわかっています。LOX-index®は脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価できる、唯一の検査です。

LOX-index®とは?

総合評価コメント

超悪玉コレステロールLAB、超悪玉コレステロールの担い手LOX-1がともに少し高めの結果で、血管障害リスク(血管が傷む危険性)が進行しやすい方向に傾いていると考えられます。高血圧、高血糖、肥満、喫煙など他の動脈硬化リスクを持っている人は、治療や生活習慣の改善によってリスクを抑える必要があります。LOX-1は炎症で上昇しますので、体内に炎症の兆候がある可能性があります。また、LABは体内で活性酸素が発生することで、悪玉コレステロール(LDLコレステロール)がサビつき生成されます。これらは食生活、運動習慣によって改善できますので、生活習慣を見直しましょう。状態把握のためにも、一年後の再受診をおすすめします。

検査結果に対する総合的なコメントや改善の方向性を提案。

個別時系列データ

sLOX-1

1800  
1500  
1200  
900  
600  
300  
0

2014/12/24 2014/1/1 2013/1/1

評価 中 中 中  
評価基準値 270 < 中 1440 < 高

LAB

10.0  
8.0  
6.0  
4.0  
2.0  
0.0

2014/12/24 2014/1/1 2013/1/1

評価 中 中 高  
評価基準値 3.3 < 中 7.9 < 高

LOX-index

10000  
8000  
6000  
4000  
2000  
0

2014/12/24 2014/1/1 2013/1/1

評価 中 中 高  
評価基準値 1068 < 中 7160 < 高

解説

超悪玉コレステロールの担い手LOX-1は、血液中から異物を取り除く働きをしています。血管に障害が起こるとLOX-1の生成が促進されるため、LOX-1は血管炎症の指標として利用されています。

今回の結果は、前回と同様にLOX-1の値が少し高い状態です。LOX-1は血中から異物を取り除く働きをしているため、酸化LDLなどに代表される動脈硬化の原因物質が多く、血管の炎症が起っていると考えられます。

この状態を改善するには、ストレスを避けることが必要です。メンタルストレスのほか、酸化ストレスにも注意して下さい。食を中心とした生活習慣の改善をお願いします。

解説

超悪玉コレステロールLABは、悪玉コレステロールであるLDLコレステロールが酸化し、サビ付いた状態を示します。LDLコレステロールの一部は活性酸素等の影響によりサビつきます。このサビ付いたLDLコレステロールは動脈硬化を引き起こす原因となります。

今回の結果は、前回より改善が見られますが、LABの値がまだ少し高い状態です。

更なる改善を目指すために、生活習慣を見直してみましょう。また今後、加齢などによりリスクが上がる可能性が高いため、生活習慣の改善などでLABを下げるように心がけて下さい。

解説

「LOX-index」は、脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する最新の指標です。この結果は、将来の脳梗塞・心筋梗塞発症率を大きく左右します。

今回の検査結果では、前回より少し改善しリスクは中程度と評価されました。更なる改善を目指しましょう。

今後、加齢などによりリスクが上がる可能性がかなり高いため、生活習慣の改善などでLOX-1とLABを下げる必要があります。

よりよい生活習慣とストレス解消を心がけて、リスクの軽減に努めましょう。

過去の検査結果からの推移も一覧できる解説付き。

※ 結果報告は、14日前後でお届けします。

## ご予約・検査に関するお問合せ